

企業情報

有限会社 神奈川技研			
所在地	神奈川県鎌倉市		
ホームページURL	http://kanagawagiken.com		
設立年	1957年	業種	金属製品製造業
従業員数	4人	資本金	300万円

企業概要

当社は、治工具・ゲージ製作の企業として昭和32年8月創業し、以後、航空・宇宙機器用、医療用、半導体用等の部品及び治工具、試験機、試験片等を、機械、化学、車両製造、電機等の企業や工業試験所に納入して来た。昭和60年に自社製品を目指し、道路標識を修理する装置の開発を開始、昭和62年：「標識起こし機」実用新案登録出願（実登2000176）、平成6年：特許登録「切断標識保持具」（特許2114991）を受けた。その後も道路標識の修理装置等の開発を続け現在に至っている。（特許出願3件、特許権3件、実用新案登録3件、意匠権4件、商標権1件）（個人名での出願も含む）

自社の強み

精密器具や部品の開発設計、加工を主たる事業としてきた。特に難加工性の精密部品については、多様なご要望にお応えできたと自負している。道路標識の補修に関する技術開発・製品化は自社製品の新たな事業展開分野として始めたもので、それまでに貯えた技術、経験、特に金属の加工に対する技術を生かせる分野と考えており、今後も福祉社会に貢献できる企業を目標にしている。



一押し商品

道路標識は比較的簡単に折れたり、曲がったりするため、損傷した標識がしばしば見られ、修復には、時には数ヶ月を要する。当社の「道路標識補修システム」は、現場ですぐに標識の機能を回復できる。

- ① 根元から倒れた（曲がった）標識柱は、バッテリー式油圧ポンプを備えた「道路標識起こし機（KG100型）」が最適であり、5分程度で倒れた標識を強力に復帰させることができる。
- ② 曲がった標識板の補修は、標識補修機（KG2000型）により、てこの原理で簡単、迅速に直すことができる。（写真なし）
- ③ 根元で折れた標識柱は、折損標識保持具（KG3000型）を地面に打ち込み、そこに折れた標識柱を差し込んでネジ止めする。



窓口活用のきっかけ

以前より知財への高い関心をお持ちであり、最初の出願（実用新案を自身で書き個人名での出願）は昭和62年です。平成2年に審査請求。平成4年に拒絶理由通知書が届き、対応を検討していましたが、発明相談が定期的に工業試験所や県立図書館で行われていることを知り、窓口にご相談されました。

最初の相談概要

実用新案出願についての拒絶理由に対する補正書、意見書の相談にこられ、弁理士との数回の面接、アドバイスを経て登録されました。

その後の相談概要

その後は、個別案件、知財戦略、技術開発等につき、弁理士、弁護士、企業の知財担当者O B、機械工学の専門家と、種々の専門家により支援をさせていただきました。

窓口を活用して変わったところ

当初より、知財につき極めて高いレベルの企業でおられます。そのため我々の支援は、セカンドオピニオンと考えていただければと思っておりますが、広くアドバイスを参考にさせていただいております。今後、新規分野の進出も計画されており、より積極的に活用していただけるものと思っております。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

アイデアが浮かんだら、まず相談に伺うことをお勧めします。自分の考えた案件に親切丁寧に対応していただけます。まず内容を紙に書いてください（うまくない絵でも大丈夫です）。アイデアやヒントは、日常どこでもあります。情報を収集し、よく観察して何故かと問うことで道は必ず開けます。失敗を恐れず、頑張りましょう。

窓口担当者から一言（氏名：加根魯 和宏）



知財を有効活用されている稀有な企業です。適切な開発テーマの選定、活発な開発活動、知財への極的な姿勢、粘り強いビジネス活動をされた結果、独占的な地位を獲得されました。確実な需要が期待できる分野であるが、企業での開発がされていない分野（知財的空白）を見つけられました。そのような分野への進出には、多大の努力が必要ですが、成功されつつあります。素晴らしい事例としてヒントにいただければと思います。